

「切らずに治す 痔の治療」

「3人に1人は**痔**主」と言われるほど、「痔」で悩まれている人はたくさんいます。「痔」には、肛門付近にいぼができる「**いぼ痔（内・外痔核）**」、肛門の皮膚が切れる「**切れ痔**」、肛門の周囲から膿が出る「**痔ろう**」があります。そのなかで最も多いのが、いぼ痔です。これまで、外用薬などで改善しない場合は、いぼ痔を切り取る手術が行われてきました。この手術は、治療効果の高い術式ですが、術後の創部痛や出血が問題でした。

数年前より、「いぼ痔の**注射療法（ALTA療法）**」が保険適応となり、徐々に施行件数が増えています。下半身麻酔下に、「硬化療法剤」を**痔核1個につき4か所に注射**します。この硬化剤の炎症作用によって、痔を縮小させるのです。注射に要する時間は**15分程度**です。この治療法は、主に**脱出が中程度までの内痔核**が対象です。また、この治療法は、これまでの手術と比べ、術後の創部痛や出血が少なく、当院では**1泊2日の入院**を標準としています。また手術費用の1/3程度で経済的負担も大きく軽減されます。

いぼ痔の治療は「切って治す」、痛い手術のイメージがあり、受診には躊躇される方が多いようです。しかし、この治療を受けられた多くの方から「これなら、もっと早く治療していればよかった」と喜んで頂いています。

毎週火曜日 午後、（外科）肛門外来を開設しております（担当：趙 秀之）

痔でお悩みの患者さんがおられれば、気軽にご相談ください。



【ALTA療法術前】



【ALTA療法術後】

医療法人 清仁会 洛西ニュータウン病院 消化器外科部長 趙 秀之

病院理念：優しさと思いやりの心をもって、質の高い安心で安全な医療を提供します

医療法人清仁会 洛西ニュータウン病院